



外国人材に
選ばれる
熊本を目指して

Vol.8

事例紹介（４） －外国人材の就職事情

公益財団法人 地方経済総合研究所 特別研究員 前田 和則
 熊本学園大学 非常勤講師（日本語科目）
 専修学校 久留米ゼミナール 非常勤講師（キャリア教育科目・日本語科目）
 修士（文学）・修士（大学アドミニストレーション）



1 はじめに

前号では、熊本県内の大学に在籍している外国人留学生の就職活動事情を紹介しました。本号では、熊本県内の日本語学校に在籍している外国人留学生の進学、就職事情を紹介します。

まず、日本語学校とは、主に外国人が日本語を学ぶ1～2年課程の学校で、日本国内には877校（2024年4月現在）あり、熊本県内には6校あります。現地の高校卒業が入学資格の1つになっています。また、日本語学校を卒業した外国人留学生の78.3%が日本国内の大学や専門学校等に進学し、就職は10.6%に留まっています（図表1）。これには在留資格が関係しています。外国人が日本国内で働く際には基本的に在留資格を取得しなければ働くことができません。例えば、企業が外国人を機械工学の技術者、システムエンジニア、営業職、通訳等で雇用したい場合、働く外国人は「技術・人文知識・国際業務」（以下、「技人国」）の在留資格を取得しなければなりません。そして、この「技人国」を取得するためには、大学（日本以外も可）または日本国内の専門学校を卒業していることが条件の1つです。
 以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより

アクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

（入力は数分で終わります）

（上段：留学生数(人) / 下段：構成比）

卒業後の進路	日本・出身国（地域）以外					小計	不明	卒業留学生総数				
	就職	進学	その他	就職	その他							
2022年度	2,650	19,540	625	570	105	1,297	54	25	88	24,954	29	24,983
	10.6%	78.3%	2.5%	2.3%	0.4%	4%			100%			

[会員の方ははこちらから](#)